

志田延義 しだ 延義 國文學者、文藝博士。明治二十九年六月十日富山縣生
れ（一九〇一）。號素飭、筆名詩多エシギ。昭和五年東京帝國大學文學
部國文學科卒。中學校教諭、文部省視察官、同國民精神文化研究所所
員、山梨大學教授歴任。『略歴並びの主要発表目録』（平成五年五月
刊）がある。

著書 『日本文學論素描—歌謡圖の國文學』（昭和十一年五月、二日成美
堂書店）、『神話篇—日本文學論』（昭和十四年、二月十五日日本問題
研究所）、『幕末動亂歌入集』（教壇奇譚、昭和十五年九月八日内閣
印刷局、「日本精神叢書」）、『神樂・神歌』（教壇奇譚、昭和十五年
十月、二十日内閣印刷局、「日本精神叢書」）、『古代詩歌の於ける神の
概念』（久松潜一共著、昭和十六年二月、二十九日國民精神文化研究所
歌傍書房發賣）、『皇國の道』（昭和十八年五月十日自照書店、「東洋
文化叢書」）、『大東亞言語建設の基本』（國民精神文化研究所編、
昭和十八年九月一日歌傍書房、「大東亞文化建設研究」）、『萬葉篇（日
本文學論）』（昭和十九年四月、二十日新太陽社、「日本文化新書」）、
『アジヤ古典の復興』（昭和十九年六月十日日本放送出版協會、「ラジ
オ新書」）、『俳諧と歌謡』（昭和二十五年一月十五日自照書店）、
『國語科教育學』（昭和二十五年九月、二十五日桜楓社出版）、『説・
歴史の片隅から』（昭和二十一年十一月十五日全文堂）等。